

祝★200号!

まつもと市議会だより



芳川地区福祉ひろばで、赤ちゃん事業として行われているぼかぼか開放日の一コマです。
この日はママたちが、令和5年のカレンダー作りに挑戦していました。

contents

② 特集 高校生との
交流事業を実施しました!

④ 12月定例会

概要…4

議案審査等の概要…5

審議結果…6

一般質問…7

⑭ 第3回臨時会、2月定例会の予定 ほか

⑮ まつもと市議会だより200号!
活動レポート、姫路市議会との親善交歓会 ほか

⑯ キラリ★輝く市民にインタビュー! ほか

若者との交流事業

高校生

松本市議会

未来を担う若者に議会を身近に感じてもらうこと、また、若者の意見を直接お聞きする取り組みとして、高校の授業に議員が参加し、若者と意見を交わす交流事業を行っています。今年度は、梓川高等学校と松本工業高等学校の生徒の皆さんと行いました。活発な授業となった一部を紹介します。

今回で2回目！
昨年は2年生と実施

梓川高等学校

R 4.12.16 金

「人口減少が進む日本社会の中で、皆さんが幸せに生きるために何ができるか」をテーマに3年生約100名と、オンラインと対面を組み合わせ、意見交換を行いました。

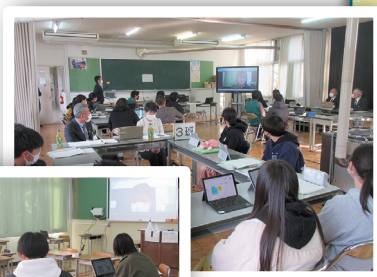
生徒の意見

- 世界共通である英語を勉強し、活かせるようになれば海外から日本へ来る人を受け入れやすくなり、人口の増加や文化交流にもつながっていく。
- 人と関わる機会を増やすことで、様々なアイデアが出やすくなると思う。また、インターネットを活用して、地域の人と人を結ぶことも地域の活性化につながる。
- 毎日おいしいご飯を食べられることが幸せだと考えている。ふるさと納税などで農家や農業を支援する取り組みが必要だと考える。
- 地域の行事に自ら参加し、まちの活気を高めたい。



議員からの意見

- 社会をたくさん経験している人に聞いて学んでいくことや、自分が困っていることを発信していくことが大切だと思う。
- 政治の力で社会を変えていくことはできる。意見を伝えていくことも政治に参加することであるため、積極的に意見を伝えてほしい。
- AI（人工知能）が発達してきているが、根本となるものは人と人との関わりである。これまで以上に、人との関わりが求められる。



議員と近い距離で話すことができ、親しみを感じました。2年続けて交流事業ができたことで、より深くテーマを掘り下げることができました。

梓川高校 生徒

テーマを自分のこととして捉え、話題を投げかけてくれました。時代と向き合い、人生を見つめて将来像を描いており、市議会への関心の高さを感じました。



議員

皆さん、先生方、ありがとうございました！



生徒の皆さんから出された質問や意見で、市への要望などは、担当部局へお伝えしています。

松本市議会では、今後も若者の政治への関心を高める取り組みを進めていきます。



今回で8回目！

松本工業高等学校

R 4.12.21 水 ~ 26 月

地域課題や学生生活で普段感じていることなどについて、1年生約190名とフリートークで意見交換を行いました。



生徒 冬の道路を安全に自転車走行できるようにしてほしい。

議員 除雪など、優先順位を決めて早期除雪に心がけている。除雪のすべてを行政だけではできないため、地域にもお願いしており、皆さんにも協力してほしい。また、雪や凍結で自転車走行が危険な場合は、乗らないことも心がけてほしい。

生徒 市域が広いなか、中心から遠い地域の声や意見を反映させるために行っていることは。

議員 市内35地区の地域づくりセンターを中心に、市民の意見などを吸い上げている。また、議員が自ら地域の声を拾い、市政に反映していくように活動している。



そのほかにも……

生徒からたくさんの質問や意見が出されました！



- 学校などの活動があるため、悩みを抱えている児童や生徒が相談できる場所「こころの鈴」の相談時間帯（午後1時から午後6時）を拡大してほしい。また、SNS（LINEなど）で相談しやすい環境を整えてほしい。
- ※「学割でおトクにかえるパスポート（学割カエルパ!）」はとてもいい制度だが、対象の高校生以上の生徒や学生に情報が届いていないので広く周知が必要だと思う。

※学割でおトクにかえるパスポート（学割カエルパ!）… 学生などであることを証明する身分証明書や学生証などを提示すると、割引などの特典サービスを対象のお店で受けられる事業

感想



松本工業高校
生徒

交流をとおして、市をよくするために何が必要か考える機会になりました。選挙以外でも、このような場を通じて市政に参加できることを実感できました。

提案内容の深さに驚きました。議員の視点と違った点もあり、とても刺激になりました。若い新鮮な感覚をずっと持ち続けてほしいと思います。



議員

梓川高等学校と松本工業高等学校の生徒の

私立保育園・幼稚園等価格高騰対策支援事業費を含む 令和4年度松本市一般会計補正予算などを可決



今定例会では、市長から提出された41件の議案のほか、3件の請願、2件の議会案を審議し、それぞれ議決しました。

▶ 議案審査等の概要はP5、審議結果の一覧はP6、一般質問はP7～14をご覧ください。

こんなことが決まりました！

議案第7号 令和4年度松本市一般会計補正予算（第7号） 【私立保育園・幼稚園等価格高騰対策支援事業費】

光熱費の高騰の影響を受けている市内の私立保育園などを支援するため、市独自に交付金を支給するものです。

【対象となる園】 私立保育園、認定こども園、私立幼稚園など
【交付基準額】（1園当たり） 在籍園児数 0人～80人：13万円
81人～160人：20万円 161人～：36万円



【高齢者福祉施設等価格高騰対策支援事業費】

物価高騰の影響を受けている市内の高齢者福祉施設などを支援するため、県が実施する支援金の対象とならない介護保険サービス事業所に対して、市独自に交付金を支給するものです。

【対象事業】 介護予防・日常生活支援総合事業を実施する事業所（※適所型サービスA）で、他の介護保険サービスが実施されていない事業所……5事業所
【交付基準額】 90,000円+加算額（3,000円×利用定員）



請願

市民が市政についての要望や意見を議会へ文書により提出するものです。議員の紹介を必要とします。

介護保険制度の改善を求める請願書

介護保険制度の改善を求めるための意見書を国に提出することを求めるもの

→ 詳細やその他の請願については、市議会ホームページからご覧いただけます。



陳情

市民が市政についての要望や意見を議会へ文書により提出するものです。議員の紹介は不要です。

安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書

安全・安心の介護・医療の実現のための意見書を国に提出することを求めるもの

→ 詳細やその他の陳情については、市議会ホームページからご覧いただけます。



議会案

実現に向けて国会や関係行政庁に意見書を送付しました。

香害について国による実効性のある施策と安全性確保のための施策推進を求める意見書

香害について国において実効性のある施策と安全性確保のための施策推進を求めるもの

→ 詳細やその他の議会案については、市議会ホームページからご覧いただけます。



人事

下記の人事案件について、同意することに決定しました。

- ・教育委員会委員 ふくざわ 福澤 たかひろ 崇浩 氏
- ・公平委員会委員 こまつ 小松 しげきよ 茂清 氏



議案第 2 号

松本市個人情報保護条例

個人情報保護に関する法律の改正に伴い、松本市個人情報保護条例を全部改正するものです。

こんな質問が出ました

Q 現行条例に比べて条文数が大きく減り、市の個人情報保護が後退することを危惧するが、市の見解は。

A 国が一律にルールを決める中で、現行条例の規定は基本的に法律に規定されたため、現行条例と実質的な部分とは変更がない。

国の個人情報保護委員会が個人情報保護の取扱いを決定するので、市の個人情報保護制度審議会へ諮問できる事項は限られるが、事後であっても同審議会に報告する規定を設けることで、第三者の監視機能を働かせ、未来に生かすことができる。



議案第 14 号

市有財産の取得について (松本市立小学校遠隔授業配信用機器)

小学校におけるオンライン授業の配信環境を整えるため、全学級に配備する配信用機器を取得するものです。

こんな質問が出ました

Q あらかじめ録画した授業を配信する、いわゆるオンデマンド配信の実施は考えているか。

A 技術的には可能であるが、現状では、録画した授業の映像管理まで至っていないため、現段階での実施は難しい。

将来的には、オンデマンド配信にも対応していきたい。その際には、人員確保が課題となってくる。



厳しくチェック!!

議案審査等の概要

市長から提出された議案は、それぞれ所管の委員会で審査し、その審査結果を参考に本会議で議決します。定例会中の委員会では、議案の審査のほかにも、請願、陳情を審査しています。ここではその一部をお伝えします。



議案第 7 号

令和 4 年度松本市一般会計補正予算 (第 7 号) 【繰越明許費・道路改良事業 (国土強靱化)】

島立地籍の市道 7003 号線の道路新設改良工事について、地元との協議に時間を要し、年度内の事業完了が困難であるため、繰越明許費として予算の一部を翌年度に繰り越すものです。

こんな質問が出ました

Q 現在の交渉状況はどのようになっているか。また、事業の完了予定はいつなのか。

A すでに地元町会や関係者からは、島立地籍の市道 7003 号線の道路新設改良工事について同意を得ている。

事業完了は令和 5 年 9 月を予定している。



工事中の島立地籍の市道 7003 号線



請願第 16 号・陳情第 9 号

高齢者福祉入浴事業の継続についての請願書、 高齢者福祉入浴助成事業の継続を求める陳情書

70 歳以上の高齢者を対象に、健康増進と交流促進を目的として交付されている高齢者福祉入浴券について、事業の継続等を求める請願と陳情です。

こんな意見が出ました

- ・市独自の事業で、高齢者も楽しみにしている事業であるので、継続・拡大してほしい。
- ・原油高騰やコロナ禍で銭湯や高齢者が大変な今になって、廃止の議論が出てくるのが理解できない。事業開始から 25 年が経過して課題はあるが、こういう社会情勢のときだからこそ、継続すべき事業である。
- ・高齢者に楽しく健康に地域で暮らしてもらうための事業なので、課題を整理しながら事業を継続、拡大してほしい。



松本市高齢者福祉入浴券

審議結果

詳細は市議会ホームページでご覧いただけます。



総：総務委員会 厚：厚生委員会 経：経済文教委員会 建：建設環境委員会

条例

| 議案番号 | 件名 | 委員会審査 | | 議決結果 |
|------|--|-------|------|-------|
| | | 付託委員会 | 審査結果 | |
| 1 | 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 | 総 | | 可決 可決 |
| 2 | 松本市個人情報保護条例 | 総 | | |
| 3 | 松本市議会議員及び松本市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例 | 総 | | |
| 4 | 松本市自転車駐車場条例の一部を改正する条例 | 建 | | |
| 5 | 松本市特別職の職員給与及び費用弁償に関する条例及び松本市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例 | 総 | | |
| 6 | 松本市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 | 総 | | |

予算

| 議案番号 | 件名 | 委員会審査 | | 議決結果 |
|------|-------------------------------|-------------|------|-------|
| | | 付託委員会 | 審査結果 | |
| 7 | 令和4年度松本市一般会計補正予算(第7号) | 4常任・基幹博物館建設 | | 可決 可決 |
| 8 | 令和4年度松本市市街地駐車場事業特別会計補正予算(第2号) | 経 | | |
| 9 | 令和4年度松本市宗川観光施設事業特別会計補正予算(第1号) | 総 | | |

契約

| 議案番号 | 件名 | 委員会審査 | | 議決結果 |
|------|--|-------|------|-------|
| | | 付託委員会 | 審査結果 | |
| 10 | 松本市村井多世代交流型子育て支援施設工事に伴う設計施工に関する協定の締結について | 厚 | | 可決 可決 |
| 11 | 工事請負契約の締結について(令和3年度松本市エコトピア山田既存廃棄物移設工事)の議決更正について | 総 | | |

財産

| 議案番号 | 件名 | 委員会審査 | | 議決結果 |
|------|---|-------|------|-------|
| | | 付託委員会 | 審査結果 | |
| 12 | 市有財産の取得について(消防ポンプ自動車) | 総 | | 可決 可決 |
| 13 | 市有財産の取得について(松本都市計画道路3・2・12号内環状北線整備事業用地) | 建 | | |
| 14 | 市有財産の取得について(松本市立小学校遠隔授業配信機器) | 経 | | |
| 15 | 市有財産の取得について(松本城南・西外堀復元事業用地) | 経 | | |
| 16 | 市有財産の譲渡について(うつくしの里デイサービスセンター) | 厚 | | |

道路

| 議案番号 | 件名 | 委員会審査 | | 議決結果 |
|------|-----------|-------|------|-------|
| | | 付託委員会 | 審査結果 | |
| 17 | 市道の認定について | 建 | | 可決 可決 |

その他

| 議案番号 | 件名 | 委員会審査 | | 議決結果 |
|------|--------------------------------------|-------|------|-------|
| | | 付託委員会 | 審査結果 | |
| 18 | 公の施設の指定管理者の指定について(乗鞍観光センター) | 総 | | 可決 可決 |
| 19 | 公の施設の指定管理者の指定について(沢渡第1駐車場 外3施設) | 総 | | |
| 20 | 公の施設の指定管理者の指定について(野麦峠スキー場) | 総 | | |
| 21 | 公の施設の指定管理者の指定について(希望の家 外1施設) | 厚 | | |
| 22 | 公の施設の指定管理者の指定について(島内デイサービスセンター 外1施設) | 厚 | | |
| 23 | 公の施設の指定管理者の指定について(田川デイサービスセンター 外1施設) | 厚 | | |
| 24 | 公の施設の指定管理者の指定について(東部デイサービスセンター 外1施設) | 厚 | | |

| | | | | |
|----|--------------------------------------|---------|--|-------|
| 25 | 公の施設の指定管理者の指定について(四賀デイサービスセンター 外4施設) | 厚 | | 可決 可決 |
| 26 | 公の施設の指定管理者の指定について(松風園) | 厚 | | |
| 27 | 公の施設の指定管理者の指定について(南部老人福祉センター) | 厚 | | |
| 28 | 公の施設の指定管理者の指定について(梓川福祉センター) | 厚 | | |
| 29 | 公の施設の指定管理者の指定について(四賀環境学習の森) | 建 | | |
| 30 | 公の施設の指定管理者の指定について(リサイクルセンター) | 建 | | |
| 31 | 公の施設の指定管理者の指定について(松本城大手門駐車場) | 経 | | |
| 32 | 公の施設の指定管理者の指定について(坊主山ラインガルテン 外1施設) | 経 | | |
| 33 | 公の施設の指定管理者の指定について(梓川水田農産物処理加工施設) | 経 | | |
| 34 | 公の施設の指定管理者の指定について(梓水苑 外1施設) | 経 | | |
| 35 | 公の施設の指定管理者の指定について(音楽文化ホール 外2施設) | 経 | | |
| 36 | 公の施設の指定管理者の指定について(野球場 外1施設) | 経 | | |
| 37 | 公の施設の指定管理者の指定について(四賀B&G海洋センター 外1施設) | 経 | | |
| 38 | 公の施設の指定管理者の指定について(アルプス公園 外2施設) | 建 | | |
| 39 | 公の施設の指定管理者の指定について(市立博物館) | 基幹博物館建設 | | |

人事

| 議案番号 | 件名 | 委員会審査 | | 議決結果 |
|------|----------------|-------|------|------|
| | | 付託委員会 | 審査結果 | |
| 40 | 教育委員会委員の任命について | - | - | 同意 |
| 41 | 公平委員会委員の選任について | - | - | |

請願

| 議案番号 | 件名 | 委員会審査 | | 議決結果 |
|------|--|-------|------|------|
| | | 付託委員会 | 審査結果 | |
| 請14 | 介護保険制度の改善を求める請願書 | 厚 | 不採択 | 不採択 |
| 請15 | 香害について国による実効性のある施策と安全性確保のための施策の推進を求める請願書 | 厚 | 採択 | 採択 |
| 請16 | 高齢者福祉入浴事業の継続についての請願書 | 厚 | | |

陳情

| 議案番号 | 件名 | 委員会審査 | | 議決結果 |
|-------|---------------------------------|-------|------|------|
| | | 付託委員会 | 審査結果 | |
| 陳8 | 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書 | 厚 | 趣旨採択 | - |
| 陳9 | 高齢者福祉入浴助成事業の継続を求める陳情書 | 厚 | 採択 | - |
| 陳10-1 | 学校や保育園におけるマスク着用に関する陳情 | 厚 | 趣旨採択 | - |
| 陳10-2 | 学校や保育園におけるマスク着用に関する陳情 | 経 | 採択 | - |
| 陳11-1 | 学校における「黙食」の緩和を求める陳情 | 厚 | 趣旨採択 | - |
| 陳11-2 | 学校における「黙食」の緩和を求める陳情 | 経 | 採択 | - |
| 陳12 | 私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書 | 経 | 採択 | - |

議会案

| 議案番号 | 件名 | 委員会審査 | | 議決結果 |
|------|---|-------|------|------|
| | | 付託委員会 | 審査結果 | |
| 議16 | 香害について国による実効性のある施策と安全性確保のための施策推進を求める意見書 | - | - | 可決 |
| 議17 | 私立高校への公費助成に関する意見書 | - | - | |

賛否の分かれた議案など

○：賛成 ×：反対 議：議長（※議長は表決には加わりません。）

| 議案番号 | 会派名 議員名 | 開明 | | | 政友会 | | | 誠の会 | | | 公明党 | | | 日本共産党 松本市議団 | | | 無所属 | | | | | | | | | | | | |
|---------|------------|----------|----------|--------|-------|---------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|----------|----------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|
| | | 上條 敦重 | 吉村 幸代 | 今井ゆうすけ | 川久保文良 | 上條 温 | 芝山 稔 | 牛丸 仁志 | 古沢 明子 | 村上 幸雄 | 中島 昌子 | 上條 俊道 | 柿澤 潔 | 若林 真一 | 阿部 功祐 | 犬飼 信雄 | 太田 更三 | 内田 麻美 | 勝野 智行 | 上條美智子 | 近藤 晴彦 | 塩原 孝子 | 澤田佐久子 | 犬飼 明美 | 池田 国昭 | 横内 裕治 | 田口 輝子 | 上條 一正 | 神津ゆかり |
| 2、13、15 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5 | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 請14 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

議：請願



本会議では、議員が市民の代表として市の政策などに対する質問を行っています。
 12月定例会では、21人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。
 ここでは、一議員につき一項目の質問と答弁の要旨を掲載しています。

各議員の一般質問の録画映像を松本市議会ホームページから見る您可以通过二次元コードからアクセスしてください。



A **教育長** 令和4年3月に養護教諭の代表者が集まる会議では、慎重な姿勢が示された。その後、PTAからの提案と協力により、中学校1校でトイレに生理用品を試験的に設置することとなった。その結果を踏まえ、当事者である生徒へのアンケートを実施することを、校長会にも相談して必要な施策を検討していく。



Mウイングの女子トイレに設置された生理用品

Q 令和4年2月定例会の澤田議員への答弁で「生理用品は保健室で渡すのが基本だが、保健室に行くことに抵抗がある子どももいるので現場の声を参考にしながら検討する」とあったが、その後の状況は。学校のトイレにも設置すべきと考えるが、教育長の見解を伺う。

質問項目
 ・介護保険制度の改定問題について
 ・コロナから市民の命を守る施策について
 など

小中学校のトイレへの生理用品設置



日本共産党松本市議員
 しおはら たかこ
塩原 孝子



A **市長** ごみの減量化は、ゼロカーボンを実現するうえで着実に進めていかなければならない。ごみの減量化に向けては、有料化も一つの手段と言われているが、昨今の物価高騰の中で、「有料化」による市民生活へのさらなる負担増は避けるべきであり、現状においては、ごみの「有料化」でなく資源化の徹底を優先すべきと考えている。特に、化石燃料由来であるプラスチックごみの削減については、温室効果ガス排出量の削減に大きく貢献することから、容器包装に加えて新たに製品プラスチックを資源化することや様々な場面で使い捨てプラスチック製品、いわゆるワンウェイプラスチックの削減に向けた取り組みに力を入れている。

Q ゼロカーボン実現に向けた焼却ごみの減量のためには、「家庭ごみ」有料化でなく、分別・資源化を優先すべきと考えるが、市の考えは。

質問項目
 ・市長の政治姿勢について

家庭ごみ処理手数料（収集）有料化



日本共産党松本市議員
 いけだ くにおき
池田 国昭





開明
今井 ゆうすけ



質問項目

- ・市長の政治姿勢

※2 AI活用型デマンド交通の導入

Q 全国的にAI活用型のデマンド交通が広がってきている。導入により、負担の軽減やコスト低減による運賃の抑制など需要の喚起が期待される。本市においても実証運行を行い、導入を検討すべきと考えるが市の見解は。

A

市長 「まつもと公設民営バス」について地域の方と協議する中で、地形や高齢化など課題が大きいことが浮き彫りとなった。そのため、地区内の移動を担うラストワンマイルの交通手段を充実させる必要があると整理した。具体的には、市内3地区をモデルとして検討を進めており、この内2つの地区で、AIを活用したデマンド交通の実証運行の準備を進めている。



他市の事例「のるーと塩尻」（塩尻市）



開明
川久保 文良



質問項目

- ・子育て支援
- ・市長の政治姿勢

棚卸事業

Q 多くの方が来場し、地域に根付いたイベントを誰が、どのような理由で廃止したのか伺う。

A

宮之本副市長 「信濃の国楽市楽座」と「信州夢街道フェスタ」は、出店数、来場者数が減少傾向となり、ブラッシュアップする必要があると認識していた。「コロナ禍で2年連続中止となり、再開にあたり、主催事務局と市で協議を重ねたが、合意に至らず、市で負担金を予算化しなかった。」
産業振興部長 「農業まつり」は、出展者の意向調査など、今後の在り方について検討を重ねてきた。検討を踏まえ、実行委員会会長が、令和4年度以降の中止と、今後の検討の場として実行委員会を継続すると集約した。



過去に開催された農業まつり



開明
吉村 幸代



質問項目

- ・第1回「松本城の日」を終えて
- ・地方自治の本旨と一部事務組合
- ・まつもと市民芸術館と文化振興策

まつもと市民芸術館と文化振興策

Q 市の内部評価を見る限り、現状分析がされておらず、専門家会議の提言を貼り付けただけであるが、芸術監督制を存続させるか否かについて、現状分析に基づく検討をしたのか。また、地元の要望や納税者である市民の見解はどのようにして吸い上げたのか。

A

文化観光部長 芸術監督制の在り方については、慎重かつ多面的に検討を進めている。令和3年10月に専門家会議を設置し、令和4年4月の6項目からなる提言の中で、芸術監督制は継続すべきと提言をいただいた。提言をもとに、現状に対する認識の分析を行っていく。提言は、芸術館の利用者や出演者、観客などのアンケート調査の意見を参考にしたものである。市民意見が反映されたものと考えている。

※2 AI活用型デマンド交通 AI（人工知能）を活用した効率的な配車により、利用者予約に対して、リアルタイムに最適配車を行うシステム

※3 市内3地区 寿地区周辺、梓川地区、白坂地区（放光寺町会）

※4 2つの地区 寿地区周辺と梓川地区



開明
かみじょう
上條 敦重
あつしげ



質問項目

- ・農業政策と移住政策
- ・文化観光政策
- ・教育政策

白馬村との観光連携

Q 本来、観光は広域で取り組む政策である。将来的には広域で取り組むことを目指しながら、白馬村とまず連携し、お互いの強みと課題を情報共有しながら、国内やインバウンドに対し新たなツーリズムと活性化を目指し、行政同士が一步前に進むべきだと考えるが、市の見解は。

A **市長** 松本と白馬は隣接する自治体ではないが、双方の観光連携によって、相互利益の関係を築く大きなチャンスになると考える。お互いに求める観光のコンテンツやノウハウを補完し「世界に冠たる山岳観光リゾート」として、具体的のある連携方法を白馬村と協議できる機会を持てればと考える。将来的には、松本と白馬を含めたさらに広いエリアの観光戦略を展開し、オールシーズンの長期滞在型観光の実現に取り組んでいく。



政友会
むらかみ
村上 幸雄
ゆきお



質問項目

- ・通園バス事故の防止について
- ・指定管理者のインセンティブについて
- ・ゼロカーボンシティの実現に向けて など

インセンティブの重要性

Q 公の施設の指定管理にあたっては、行政改革を意識するばかりでなく、インセンティブの重要性に改めて向き合ってもらいたいが、市の見解は。

A **総務部長** 指定管理料については、令和2年度に新たに物件費と人件費の総額に4〜5%の率を乗じて得た額をインセンティブとして加算する積算基準の見直しを行った。引き続き他市の事例などを参考にインセンティブを含めた適正な算定に努めていく。また、自主事業も重要なインセンティブの一つであり、利用者サービスの向上につながる自主事業の展開を促進していく。また、時季に応じた変動型利用料金など、幅のある料金設定についても検討していく。



総合体育館での自主事業の様子



政友会
きしざわ
柿澤 潔
きよし



質問項目

- ・美ヶ原再生計画について

美ヶ原自然保護センター

Q 美ヶ原自然保護センター、特に売店について、現状のままでは立ち寄る人の減少に拍車がかかってしまうと考える。今後の在り方について市の考えを伺う。

A **市長** 現在、美ヶ原の新たな再生計画の策定を進めている。美ヶ原を「日本に誇る高原観光地」とするためには、現存施設の魅力向上が不可欠である。売店については、カフェテラスの設置や環境に配慮したトイレの充実など機能の向上を図るとともに、県所有の自然保護センターについても県側と調整を図っていきたい。美ヶ原の再生は市にとつて極めて優先順位が高い課題であるため、部局を超えた取り組みを加速していきたい。



美ヶ原自然保護センターの在り方の検討を





政友会
中島 昌子
なかじま まさこ



質問項目

- ・不登校支援について
- ・民生委員・児童委員の活動について
- ・太陽光発電の適正な導入について

太陽光発電の適正な導入に向けての今後の方向性

Q 自然破壊や土砂災害につながりかねない山林に、太陽光発電のパネルを設置するような野放図な開発を防ぐためには、一定の規制が必要であると考える。令和4年6月に施行された松本市ゼロカーボン実現条例では、再生エネルギーを適正に導入するため必要な措置を講じるものとされているが、市の考えは。

A **市長** 本市や近隣の自治体で顕在化している不適切な事案に適切に対処するため、太陽光発電の導入と規制という、相反する視点のバランスと、実効性を兼ね備えた、本市独自のメリハリのある条例の制定を検討している。具体的には、野立ての太陽光発電は、不適切な事案には規制をかけ、乱開発を防ぐ必要があり、一方、屋根置き太陽光発電は、ゼロカーボン実現に向けて積極的に推進を図ることを想定している。



政友会
上條 俊道
かみじょう としみち



質問項目

- ・夜間急病センターについて
- ・ウィズコロナ対策について

市の夜間急病センターの在り方

Q 次の3点について伺う。①開設以降、ピーク時と現在の、内科と小児科の受診者数と収支状況。②受診を希望する市民の状況は、どのように変化してきているのか。③今後の施設運営の方向性。

A **健康福祉部長** ①受診者数は、インフルエンザが大流行した平成21年度が最も多く、内科3,727人、小児科9,483人。その後年々減少し、新型コロナウイルスの影響を受けた令和3年度は内科2,914人、小児科7,771人の減となっている。収支状況は、平成21年度以降赤字基調で、令和3年度の赤字額は5,700万円である。②コロナ禍で、軽症患者は感染リスクを恐れ、かかりつけ医が開く時間帯に受診する傾向のため、受診者数が減少したと考えられる。③年々受診者数が減少しているため、松本医療圏の緊急医療の需要を注視しながら、在り方について検証していく。



公明党
内田 麻美
うちだ あさみ



質問項目

- ・障害者手帳のデジタル化について
- ・発達性読み書き障がい(ディスレクシア)について

障害者手帳のデジタル化

Q 障害者手帳を忘れてしまったり、提示すること自体に抵抗を感じる方もいる。スマートフォンであれば忘れずに持っていく方が多く、気軽に見せることができるとのことである。他の自治体では、障がい者の確認方法としてスマートフォンアプリが導入されているが、市の考えを伺う。

A **健康福祉部長** スマートフォンアプリは、心理的負担の軽減や紛失の心配がないなどの利点がある。また、公共と民間のサービスが、共通のプラットフォームで構築されるため、情報量が増えることにより利便性が向上する。関係団体に協力をいただきながら、年度内には開始できるよう、準備を進めていく。



障害者手帳のデジタル化を



※8 **プラットフォーム** サービスやシステム、ソフトウェアを提供、カスタマイズ、運営するために必要な「共通の土台(基盤)となる標準環境」のこと。



誠の会
阿部 功祐
あべ こうすけ



質問項目

- ・都市公園について
- ・図書館について
- ・教育行政について

インクルーシブ遊具の導入と都市公園の整備

Q 全国的に注目されているインクルーシブ公園は、障害の有無にかかわらず遊ぶことができ、豊かな交流が生まれる。松本市でもインクルーシブ遊具を導入してはどうか。大規模な公園のない河西部へ同遊具のある公園の整備を提案する。また、公園の整備状況を踏まえ、今後の都市公園の整備計画について見解を伺う。

A **建設部長** インクルーシブ遊具については導入を検討する。河西部への公園整備は、土地の確保が困難と考えるが、状況の変化やエリアを超えた範囲を含め、可能性を研究する。
市長 公園の整備は計画的に実施しているが、十分行き届いていないと認識している。公園の整備は、子育て環境の充実や移住定住の促進を図るため、優先度が高い政策である。インクルーシブ遊具の設置も含めた新たな整備計画が必要と考える。



誠の会
犬飼 信雄
いぬかい のぶお



質問項目

- ・市政運営について
- ・予算編成について

議会との市政運営の進め方

Q 一期目の折り返し時点のインタビュー記事で市長が述べた「市議会と信頼関係構築を進める」という姿勢を常に念頭に置いて、市政運営を進めることを切望する。以前、市議会に対する私の信念、二元代表制についての考え方を市長に伝えてきた。このことも念頭に、今後の市政運営をどう進めるか市長に伺う。

A **市長** 市議会は市の意思決定機関であり、対等な関係、一定の均衡という議員の言葉は、行政と議会の基本的な姿を表すものである。時に厳しく対峙しながら互いの立場を尊重して、議論を重ね、理解や共感を広げてより良い結論を導いていくプロセスが重要である。議会と議論を尽くし、政策を軸に信頼関係を構築することで、総合計画に基づいた政策を着実かつスピーディーに進めていくことが使命であり、行政と議会の望ましい姿だと考える。



無所属
土屋 眞一
つちや しんいち



質問項目

- ・農村における地域活性化について

西部地域における「道の駅」の設置

Q 道の駅は、地域活性化の核となりうる施設であると考えますが、農業が盛んな西部地域に農産物直売所などを備えた道の駅を設置することについて、市の考えを伺う。

A **産業振興部長** 道の駅は、トイレや駐車場、交通情報を提供する施設の整備に併せて、地元の企業や団体が運営する農産物直売所や、地域食材を活用した食堂などの地域振興施設が整備されることが一般的である。西部地域の道の駅の整備は、地域全体の土地利用を検討する中で、具体的に考える必要がある。地域農業の発展と個々の農家の収入増を実現するには、地元の農業者が一体となり、機運を高めていくことが最も重要であると考える。



市内にある道の駅の農産物直売所の様子



無所属
神津 ゆかり



質問項目

- ・学校給食について
- ・学校施設管理について
- ・介護予防について

オーガニック給食に対する考え

Q 有機農産物を利用するオーガニック給食は、食育の推進、環境にやさしいSDGsの観点からも注目され、全国各地の自治体で取り組みが始まっている。新センターの方針が策定された今、オーガニック給食を研究すべきと考えるが、市長の見解は。

A **市長** 子どもたちの食育を支える給食食材の確保を通じて、ゼロカーボンにつながるフードシステムを確立していくことは、本市の農産物のブランド価値を高めるものである。令和4年8月から給食で使用を始めたオーガニック食材のねぎは、荒廃農地の再生を通じて環境保全型農業を推進している好事例と捉え、こうした事例を給食食材の確保という形で後押しできれば、持続可能なフードシステムの確立につながる。この取り組みを少しずつ広げ、子どもたちのために、年1回はオールオーガニック給食の提供の実現を考えている。



無所属
上條 一正



質問項目

- ・都市政策（交通のまちづくり）

中心市街地のまちづくりの方向性

Q 道路空間再編の視点を含め、市長が目指す歩行者優先、歩いて楽しめる中心市街地のまちづくりの方向性は。

A **市長** 総合交通戦略の改定では、松本城、松本駅、あがたの森を結ぶトライアングルエリア全体の歩行回遊性を高める方針を維持したうえで、周辺の幹線道路の位置付けを明らかにし、今後のまちづくりの議論を加速させるものである。松本城三の丸エリアビジョンにおいても、界隈の魅力が連なる歩行者ネットワークの形成を掲げ、誰かに語りたくなる暮らしを実現することとしている。中心市街地ならでの、にぎやかで豊かな環境を肌で感じ、誇りを持てる、住民が暮らす場としてのまちづくりを進めていく。



歩いて楽しめるまちづくり



無所属
田口 輝子



質問項目

- ・こころの鈴について
- ・働く女性の支援について
- ・ヤングケアラーについて

子どもの権利を守る拠点

Q 現在、子どもの権利を守る拠点の「こころの鈴」は、場所がわかりにくく、整った環境の施設ではないため、子どものための自由な居場所を併せた拠点が必要である。今後の取り組みについて市の見解は。

A **市長** 市には、子どもたちが自由に学び、様々な体験ができ、いろいろなことに挑戦し、失敗しても再挑戦できるような象徴的、代表的な場所が存在していない。「こころの鈴」のような悩みを相談できる場所も、スペースが狭く入りにくいという課題がある。様々な子どもたちが利用できる多面的な機能を持つ拠点施設を整備したいという声は組織内からもある。子どもたちのための拠点構想は、今後、市庁舎をはじめとする公共施設の整備をまちづくりと連動させることを念頭に検討を進めていきたい。

への就労支援などを進めていきたい。

A 産業振興部長 育児・介護休業法の改正や産後パ育休の創設など、近年育児に関する労働関係の法改正が目白押しとなっている。労働者に最も近い行政機関として、労働基準監督署や県と連携しながら、必要なことを経営者や労働者に周知啓発をしていきたい。さらに、労働組合や労働団体などのネットワークを通じて、法改正に基づく「権利や義務」について組合員個人に周知啓発を依頼するとともに、経営者側との話し合いでも取り上げるよう働きかける。こうした活動により、労働法令の改正に伴う職場環境の改善や女性への就労支援などを進めていきたい。

Q 出産や育児による離職が、女性の就業率や正規雇用率が低い一因となっている。男女とも仕事と育児を両立しやすい環境の整備に向けた労働法令の改正や、女性への就職支援とその周知について、市の考えは。

育児に関する労働法令改正等の周知

質問項目

・少子化対策と雇用環境改善の取り組み



無所属
横内 裕治
よこうち ゆうじ



**第3回
臨時会
10月31日(月)**

市長から提出された議案6件と、9月定例会で継続審査となった令和3年度決算関係議案4件を原案どおり可決・認定しました。

令和3年度松本市歳入歳出決算の認定などの決算関係議案や、令和4年度補正予算案などを可決・認定

主な内容

- 令和3年度の市の予算の使い方（決算）の認定など
- 電力・ガス・食料品などの価格高騰で特に家計への影響が大きい低所得者の経済的負担を軽減するため国から給付される1世帯あたり5万円に、市独自で1世帯あたり1万円を上乗せして支給するもの など



議案と議決結果

議員の賛否が分かれた議案については、HPをご覧ください。

各議員の賛否

令和5年2月定例会の予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|-------------------------|--|-------------------------|-----------------|-------------------------|----|
| 2/19 | 20 | 21 本会議(閉会) 13:30~ | 22 当初予算説明会 10:00~ | 23 議案調査 | 24 当初予算説明会 10:00~ | 25 |
| 26 | 27 当初予算説明会 10:00~ | 28 正午 発言通告締切 17:15 請願・陳情 提出期限 | 3/1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 本会議(一般質問) 10:00~ | 8 | 9 委員会審査 | 10 10:00~ | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 経済文教・建設環境 | 17 総務・厚生 | 18 |
| 19 | 20 本会議(閉会) 13:30~ | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |

- 日程は変更となる場合があります。詳細は議会事務局(34-3210)へお問い合わせください。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議の傍聴自粛をお願いする場合があります。
- 本会議はライブ中継、録画配信を行っています。市議会ホームページからご覧ください。



ライブ中継



録画配信

議員の辞職について

令和4年12月15日付けで勝野智行議員から議員辞職願が議長に提出されました。地方自治法第126条の規定に基づき、同日に議長が辞職を許可しましたのでお知らせします。

まつもと市議会だよりが 200号 を迎えました!!

200号

● 第100号が発行された平成10(1998)年 ●



創刊から50年

議会だよりが市民と議会とのパイプ役となることを願って昭和48(1973)年に創刊されて以来、おかげさまで今号で200号を迎えました。
今後も、市民の皆さまに市議会を身近に思ってもらえるよう、読みやすく、わかりやすい「まつもと市議会だより」をお届けしていきます。

これからも議会だよりを
よろしくお祈りします!

創刊200号記念展示を、議場前ロビー(東庁舎3階)で、行っています。
お立ち寄りの際は、ぜひご覧ください!

記念展示は令和5年3月20日(月)まで

活動レポート

総務委員会行政視察

R4.11.4 (金)



委員会の担当事項に関する課題について先進地の視察を3年ぶりに現地で行いました。
視察先 岐阜県岐阜市
調査項目 自治体DXの推進について

建設環境委員協議会

新型コロナで自宅待機となった委員がオンラインで委員協議会に参加しました。
*松本市議会では初の事例です。
実施日 R4.11.15 (火)



厚生委員会

オンラインによる模擬委員会や、各団体との意見交換会を行いました。



R4.11.17 (木)

- 模擬厚生委員協議会(オンライン)
- 松本市歯科医師会との意見交換会

R4.11.25 (金)

- 松本市学童保育連絡協議会との意見交換会

後期議員研修会

R4.11.22 (火) (政策部会)

市立病院の建設に向けて、地域医療や病院経営のあり方、病院現場の現状について研修を行いました。



演題
「松本医療圏における医療提供体制の動向」

姫路市議会との親善交歓会

3年ぶりに開催された姉妹都市姫路市議会との親善交歓会。本年度は姫路市を訪問し、「アグリエひめじを活用したMICE誘致の推進」をテーマとして意見交換会を行いました。
また、世界文化遺産・国宝姫路城や書写山圓教寺の行政視察も実施しました。



R4.11.18 (金)

中信四市議会議員研修会



大町市、塩尻市、安曇野市の市議会議員とともに行っている研修で3年ぶりに開催。今年度は大町市で開催され、視察と研修を行いました。

松本マラソン2022 ボランティア

多くの方が待ち望んだ松本マラソンが、3年ぶりに開催されました。
議員有志が、最終給水所のボランティアとして参加し、ランナーに声援を送りました。



最終給水所の様子▶

©松本マラソン実行委員会

笹賀地区福祉の地域づくり 協議会の活動

～隣組・町会・地域を包括した支え合う
地域づくり～



笹賀地区福祉の地域づくり協議会 会長
おおた なおゆき
太田 尚行さん

少子高齢化の進展、松本南部地震の教訓から地域全体で横断的、包括的に取り組む課題を再認識し、設立推進委員会で準備を進め、平成26年2月「笹賀地区福祉の地域づくり協議会」が設立されました。会長を務める太田尚行さんに活動の様子をお聞きました。

協議会の目的や活動の課題はどのようなことがありますか？

高齢者や一人暮らし、要介護者の見守り支援、子どもを安心・安全に育てる環境づくりを基本目標とし、6つの重点課題を設定しました。

①「見守り・安心ネットワーク」の仕組みづくり②認知症の予防とその対応③買物弱者への支援④隣組を基本とした見守り支援⑤子どもの居場所づくりへの取り組み⑥地域の連携団体との交流、事業創出



移動販売で買い物をするふれあい健康教室の利用者の皆さん（買物弱者への支援）

運営体制の特長は何ですか？

町会連合会、民生・児童委員協議会をはじめ地域団体と組織との連携を重視した編成をしました。具体的には、①協議会：24名の委員で構成し、全委員が課題を共有する。②「笹賀地区の福祉を語る集い」「個別ケア会議」：協議会を中心に運営会議を行う。③アドバイザーの委嘱：地区の医院・介護機関・大学・警察・消防署・地区担当職員が関わる。以上の3つが運営体制の特長です。

具体的な活動事例を教えてください。

上條記念病院の全面的な協力のもと、認知症の予防講座「笹賀ケアひろば」を開催しました。

松本短期大学と「地域づくり連携協定」を締結し、従来の交流をさらに深め地域づくり連携事業の創出を推進しています。

送迎ボランティアを優先課題とし、モデル町会として推薦、全面支援した二美町2丁目町会での買い物・通院の送迎ボランティアは活動開始から5年目を迎えました。

災害時や緊急時に支援がほしいとの要望から、



笹賀地区福祉の地域づくり協議会発行の「ほほえみ」19号

松本市の「避難行動要支援者名簿」を活用した、隣組を基本にした見守り支援体制の仕組みづくりを策定しました。

広報誌「ほほえみ」は、これまで19号発行し、協議会の活動状況をわかりやすく掲載し、全戸配布しています。

今後の活動について教えてください。

8年間の活動の積み重ねにより土台作りができました。今後は地域で対応する生活支援、隣組を基本とした見守り支援、地域の移動支援への対応について取り組みを進める考えです。コロナ禍で活動できないこともありましたが、専門委員も所属する笹賀の協議会の特長を生かしながら、住民が何を求めているのかを課題を明確にし、暮らしやすい地域となるように活動してまいります。

まつもと市議会 こどもだより第6号！



ホームページから
ご覧いただけます



上條 美智子
今井 ゆうすけ
若林 真一
古沢 明子
内田 麻美
澤田 佐久子

広報部会 議会だより編集班

今回、創刊200号となる議会だよりですが、いかがでしょうか。お気軽にご感想をお寄せください。今後とも、市民の皆様に、手に取って読んでいただけるよう、わかりやすい市議会だよりに努めてまいります。

新年に入り早くも一カ月が過ぎました。これまで、新型コロナウイルス感染症予防の対応に追われてまいりましたが、最近では、ウィズコロナに対する意識も高まり、市のイベントや地域行事の開催も徐々に増加し、活気が戻りつつあることを実感します。

編集後記